

会計課 目標

【概要】

会計課は、会計課長を兼務する会計管理者と出納係員3名で構成し、金銭・物品の出納、資金の管理運用、県収入証紙の売り捌きなどを行なっています。

会計課の目標（令和8年度）	会計管理者
【基本方向】 職員の会計事務能力の向上を目指しながら、会計事務の見直しや効率化を進めます。 また、適正で円滑な資金管理を実施するとともに、公金の安全かつ確実な運用を図ります。	
【達成すべき目標】 1 適正で円滑な資金管理と公金の安全かつ確実な運用 資金管理については、例年データの活用に加え、各課からの「収入・支出予定表」を活用するとともに、細やかなデータ集積を行うことで、的確に資金収支を見通しながら、適正で円滑な資金管理を実施します。 また、基金現金の運用については、現行の預貯金による運用に加え、債券による運用を行うことで、公金を安全かつ確実に運用します。 2 指定金融機関の振込手数料有償化に伴う振込件数削の削減 「庁内情報システム」を活用し、伝票起票時の注意点等を周知するとともに、伝票審査を徹底することで、振込件数の抑制を図ります。 3 指定金融機関等の検査の実施 公金の収納や支払等の事務が適正に処理されているかを確認するため、指定金融機関に対する「実地検査」と収納代理金融機関に対する「書面検査」を行います。 4 適正な会計事務を執行するための職員の事務能力向上 「会計事務マニュアル」を基本に、新規	【目標の達成度】

採用及び参加希望職員を対象とした「会計事務研修会」を実施することで、職員全体のスキルアップを図ります。

また、課員が課内業務全般にわたり精通することで、少ない職員でも事務が安定的に執行できるように課内で随時調整を図ります。

5 会計事務の見直し及び事務の効率化

適正な会計事務を執行するために「会計事務マニュアル」等を精査し、必要に応じた更新を行います。

また、収納事務の効率化と納付環境の充実に向けて取り組みます。